

団体名

特定非営利活動法人やまぐち男女共同参画会議 (山口市)

代表者名	相本 艶子	団体の目的
構成員数	180人	・男女が社会の対等なパートナーとして、あらゆる分野に共に参画し、共に責任を分かち合う「男女共同参画社会」の実現を推進する
設立	S55年6月	
問い合わせ先	☎083-927-4480 (相本)	

事業名

グローバル時代の参画促進パネルディスカッション開催事業

事業の目的

- ・同じく男女共同参画を推進している活動団体「北京JAC山口」と協働して、進まない参画の課題や世界の参画促進施策等を学び、今後の活動連携や政策提言などの活動につなげる

事業の内容

- ①男女共同参画に関する山口県の実態整理及びアンケート調査の実施
アンケートの調査結果は集計して各関係機関に配布
- ②参加促進パネルディスカッションと交流会の開催
日時：2月17日(土) 13:30~15:40 場所：ホテルかめ福(山口市)
内容：参議院議員の片山さつき氏、フィンランド駐日大使館一等書記官等をゲストに、男女共同参画に関する日本の現状やこれからの政策、海外の取組について学習

事業の成果

- ・アンケートでは男女共同参画に関する県の現状や課題が把握できた。今後もセミナーなど、啓発の場面で資料として活用していきたい
- ・パネルディスカッションでは、国際的な視点で男女共同参画について考えることができ、遅れている女性の政治分野への参画を、海外の状況も踏まえて学ぶことができた
- ・今後も、年齢層を広げ、多様で多彩な人が参加できるセミナーを継続開催していきたい

活動現場レポート！

男女共同参画促進パネルディスカッション 〈H30.2.17/ホテルかめ福〉

この日の会場は満席で、約240人が参加されました。

「少子高齢化が進む中、経済や地域の担い手として女性が活躍できる社会をどのように創っていくか」がテーマで、フィンランド大使館一等書記官や片山さつき参議院議員が、それぞれの立場から現状と課題を語られました。

第一線で活躍されている方から直接お話しを伺う大変貴重な場となり、参加者のみなさんは真剣にメモをとりながら聴講されていました。また、フィンランドと日本を比較することにより、改めて日本社会の課題や現状が明確になり、参加者の理解も進んだように思われました。

今後も、広く啓発活動を継続していただき、地域の中で男女共同参画の意識を高めていただきたいと思います。



熱心に聴講する参加者



パネルディスカッションも盛り上がりました

